

笹子氏 中一、日給昇給があり、御業知の通り一般の不況氣にあつて會社に二分の經營を施さなければならぬといふ不況の秋はあり、その中、日給を二分の經營として、當所は他工場より日給もよい、その中、其工場との討論問題、不合理があるといふ、事は労働代表者も能く認めて居るゝが、

解雇手當規定の増額があり、前の工場長がやめた時、此の規定より沢山出て居る、加此規定は一年二十日分とあり、其は最底額より、其れ以上は幾何にも宜い、設か此度は前額の額を要求して来た、下す、私か来た時一度其の額を支給した、其時、此後はおめと言ふ事、詰して置いたが、今茲又持出した、

自己退職手當の規定を加へて居るが、其れは工場規定額の三分三、大賞といふ、云ふ至らあつて、自分には都合の宜い事がある、會社の解雇手當の意味は、其の人が職を放れるから氣の毒がある為に出す、其權利があるもの、はあり、

會社の臨時休業をした時は日給の八分を貰ふといふ、言ふ事、此規定は昔から、土方と同様、有稱、雨の降れば何人かの中と居る、之は昔からの事、其理由が、更、あつた、工場の職工としての要求は、其れたい、此等全取の件、独り大阪鐵工所、因島工場の同意、了、大阪鐵工所全部の同意、下、私の權利、は行かぬ、今、或る、本社の取次、たい、自分の贊成、たい、者は、要件、は、

有志 是れ、明日開明して進んて来る者は、誰か、入、

笹子氏 先、二、系、子、隨、者、依、入、入、門、

雨、開、門、

會、社、許、

社、會、

不、忠、実、

事、

有志 解雇者、

彼、の、解、雇、

此、